

2022 年度(令和4年度) 第6回 生産技術委員会 議事録(案)

I. 日 時 令和4年 11月 11日(金) 午後3時から5時まで

II. 場 所 木住協 6階会議室及び ZOOM 開催

III. 出席者(敬称略、順不同、※印は ZOOM 出席)、アンダーラインは欠席者

(委員出席: 23名+委任状 13名+オブザーバー1名+事務局2名)

主 査:※秋山 哲一(東洋大学)、

委員長:秋本 正人(住友林業(株))、副委員長:佐藤 和男(ミサワホーム MJ(株))

委員:瀧澤哲也(住友林業(株))、※谷口哲哉((株)日本ハウスホールディングス)、※楡井洋(古河林業(株))

馬場 久尋(住友林業(株))、高橋 明久(タカノホーム(株))、中村 徹((株)桧家住宅)

※堀口 晃(ポラテック(株))、中藤 栄顕(ポラテック(株))、※渡邊 邦夫(サーラ住宅(株))

松田 浩司(ニチハ(株))、※遠藤 龍司(BXカネシン(株))、澁谷 佑介(YKK AP(株))

池田昌彦(旭ファイバーグラス(株))、早川琢巳(株)桧家リフォーム、※落合貴志(株)小田急ハウジング

※熊谷 淳一(住友林業ホームテック(株))、※河合奈緒子(株)アキュラホーム、内山 岳彦(株)エー・エス・ディ

※貫戸 雄貴((株)タナカ)、池田 啓輔(ミサワホーム(株))、吉川 誠二((株)ハウゼコ)

松本明美(松本設計ホールディングス(株))、小寺努(エスケー化研(株))、鎌田 広道((株)アールシーコア)

工藤俊美(近藤建設(株))、※折笠 定勝((株)エー・エス・ディ)、※佐々木直史((株)LIXIL)

清田 耕平((株)エヌ・シー・エヌ)、氏居 亮平(新進建設(株))、小川 泰史((株)細田工務店)

原口 誠(住友林業(株))、後上 知之((株)カナイ)、青木 杏子((株)ユニバーサルホーム)、

※桜井 聡(ナイス(株))、※今倉 秀樹(ジャパンホームシールド(株))

※柏倉 政紀((株)一条工務店)、石田 剛司((株)トーヨー)、※北村 忠男(日本住環境(株))

河合 宏((株)ファイブイズホーム)、※高野 一義((株)MUJI HOUSE)、市川 伸展(ヤマト住建(株))

※杉山 勝也(ポラテック(株))

オブザーバー:武永 祐嗣((株)プラネックス)、川内 一毅((株)プラネックス)、

逆瀬川 博(株)住宅審査補償事業)、佐々木 徹(住宅保証機構(株))、芝 謙一(住宅保証機構(株))、

事務局:小田嶋良一、松澤ひろ美

【報告・議事事項】

1. 生産技術委員会 令和4年度委員様名簿 (2022.11現在) (資料1)

2. 前回議事録の確認 (資料2)

・事務局にて読み上げ、修正なし。

3. 各WG進捗報告(建設副産物・安全衛生CS・リフォーム・生産管理・可否) (資料3-1~5)

<建設副産物WG>

・・・馬場リーダー

・石綿関連の動画の視聴回数が伸びている。多いもので7000回超え。

法制後、企業への立ち入り調査が発生していて、書類送検をされている企業もある。

今後は石綿の工事に必要な具体的な作業(13項目)を分かり易く解説する動画を作る。

・建設副産物WGの中期計画について議論した。来年の10月から資格者による事前調査が必要になるので、そのための支援策を検討してゆく。作成した動画によるセミナーも計画する。

<安全衛生CS WG>

・・・秋本委員長

- ・安全セミナーの動画は、法改正でもなく、ほとんど視聴回数が伸びていない。
- ・「現場で発生する顧客の不安要素と防止策」は少しずつ進んでおり、成果品が出来次第開示する。その他の議題は本日の委員会配布資料参照。

<リフォームWG>

・・・中藤リーダー

- ・既存住宅状況調査技術者講習の実績報告。新規46名、更新50名、合計96名の受講申込。
- ・システム会社への支払いが毎月発生しているため、受講者数が増えないと、収益にならない。費用の見直しを検討中。更新者の数が他団体も減っている状況がある。
- ・中期計画の検討を実施。更なる会員向けの情報提供を検討してゆく。
- ・リフォーム版施工管理チェックポイントマニュアルは継続して作成中。若い監督へのヒアリングをして頂き、さらにブラッシュアップしてゆく。
- ・こどもエコすまい支援事業・その他の補助事業について情報共有。

<生産管理WG>

・・・佐藤リーダー

- ・中期計画について、意見交換を行う。省CO2、JAS、設計品質、施工品質、DX化等について意見があり、中期計画に盛り込み修正してゆく。
- ・特定技能建築大工推進協議会について現状報告。
新区分に再編されて、今後の試験方法等について議論している。
- ・住団連の「住宅現場における技能者の働き方改革ガイドライン」について見直しを行っている。
- ・CW法の見直しについて、林野庁と住団連での意見交換の内容についての状況報告がある。
- ・富士教育訓練センターにて、毎年開催している技能講習を開催決定。6名の技能者が参加。
- ・インボイス制度の制度周知の説明会開催について説明がある。

4. 令和5年度 生産技術委員会日程表(案)

(資料4)

- ・生産技術委員会の来年度のスケジュール案について説明。基本的に第2金曜日に委員会を開催。
- ・10月5日・6日には広島にて労働災害防止大会が開催される。

5. 令和5年度 生産技術委員会中期計画(案)

(資料5)

- ・本日のWGの内容を反映する前の中期計画について、修正部分の説明。
- ・修正後、来月の企画政策委員会で承認を取る。

6. 建設工事における安全衛生経費の確保について

(資料6)

- ・現場の労働災害の更なる削減に向けて、安全衛生経費を確実に確保する旨の方針を示した。
- ・厚労省では元請け・下請の役割をガイドラインに明示する計画。国交省でも標準見積書を示す。

7. 建設業における墜落・転落防止対策の充実強化に関する実務者会合報告書

(資料7-1～2)

- ・足場からの墜落・転落防止対策として、足場施工中の点検や、点検実施者の資格、本足場の原則化等が、報告書にまとめられた。

8. 石綿事前調査チラシ(厚労省)

(資料8)

- ・解体工事、改修工事の前には、すべての現場で石綿の事前調査が必要です。令和5年10月からは調査者の資格が必要になります。
- ・(馬場) R3.9～R4.8の木造解体工事の石綿調査の違反で、労働局からの書類送検が2件発生している。労働者の健康被害の防止の観点から確実に実施が求められている。

9. こどもエコすまい支援事業について

(資料9-1～3)

- ・こどもみらい住宅支援事業が今年度で終了し、それに代わる支援事業が始まる。11/8以降の契約分が対象になる。来年の12月末までの申請。予算1500億と大規模なもの。環境省や経産省も新たな支援策を創設している。
- ・(中藤) 現行のこどもみらい住宅支援ですと、令和5年3月末までに基礎完了していないと申請できないので、新築工事では間に合わない。11/8以前の契約は、3月末までに基礎完了が必須。

10. クリーンウッド法の見直しについて

(資料10)

- ・住団連の環境委員会にて、林野庁と意見交換実施。林野庁としては、CW法がなかなか普及できていないので、改正して、違法木材を排除したい意向がある。川下側では、第2のウッドショックにならないようにしてほしい旨の要望をしている。
- ・(馬場) 国内では、伐採届が出されており、ほとんど問題になっていない。輸入材は海外の証明書を確認するだけ。CW法の事業者登録はあまり進んでいない現状がある。 今後は林野庁とこの改正に向けて、継続して意見交換してゆく予定。

11. 「住宅工事現場における技能者の働き方改革ガイドライン」改定について(住団連)

(資料11)

- ・住団連では今年度改正を計画している。
修正案について、ご意見がありましたらご連絡ください。

【その他】

1. 委員様からフリーコメントを頂いた。

(※11月度は、名簿14～23の出席委員様よりコメント頂いた。)

以上

【次回生産技術委員会・WG】

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| ・生産技術委員会 | 令和4年12月9日(金) 15:00～17:00 (木住協 会議室) |
| ・生産管理WG | 令和4年12月9日(金) 13:00～14:30 (木住協 会議室) |
| ・リフォームWG | 令和4年12月9日(金) 10:15～11:45 (木住協 会議室) |
| ・安全衛生CS WG | 令和4年12月5日(月) 15:30～17:00 (木住協 会議室) |
| ・建設副産物WG | 令和5年1月16日(月) 13:00～15:00 (木住協 会議室) |
| ・合否委員会 (11月合否判定等) | 令和4年11月28日～12月5日 (メールにて書面開催) |